

【年間テーマ】

令和 1 年 5 月 2 1 日提出

日付	令和 1 年 5 月 1 1 日 (土)			
場所	TKP 博多駅筑紫ロビジネスセンター		記録者名：田中 歩	
出席者 (敬称略)	東福岡和仁会病院 伊藤 真由美	鳥巢病院 大石 后子	福岡和仁会病院 樋口 栄治郎	松尾内科病院 田中 雅人
	香椎原病院 宮崎 紫織	北九州湯川病院 新谷 明子	福岡みらい病院 藤松 宇子	福岡輝栄会病院 田中 歩
テーマ	ミトンの使用について			
結論	<p>胃管挿入やチューブ類挿入中の患者様の抑制・ミトンの使用頻度などについて各施設でできる限り拘束を行わないように栄養の注入中のみミトンを使用したり、注入のたびに胃管挿入するなどの処置をしている施設がある一方、胃管挿入のたびにレントゲンにて医師の確認をしてもらわなければならない常にミトンを使用している施設もあった。胃管の自己抜去だけに限らずあらゆる状況下においてもリスクを承知で抑制しないほうがよいのか、それとも抑制はやはり必要なのか？色々な意見があがった。</p>			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)